

- 平成24年度 こうべまちづくり学校 基礎講座募集!(P.1)
- こうべまちづくり学校 受講生の声(P.2)
- 神戸のまちづくり 昨日、今日、明日 その3(最終回)(P.3)
- 図書紹介～まちづくりを考える～(P.4)

発行：こうべまちづくりセンター

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成24年度 こうべまちづくり学校基礎講座募集！ 申込締切：平成24年3月30日(金)

協働と参画のまちづくりを目指してまちづくりの基礎を学ぶ講座です。

	日程	テーマ	内容	講師
1	5月31日 (木)	神戸のまちの 歴史	神戸の歴史を通して、神戸のまちの成り立ちを学びます。	田辺 真人 氏 園田学園女子大学名誉教授
2	6月8日 (金)	これからの 神戸の地域活動	人と人とのつながりを豊かにし、住みよいまちにするためには？ 市内調査データを基に学びます。	立木 茂雄 氏 同志社大学社会学部教授
3	6月14日 (木)	安全安心まちづくり ～人と人との つながりを考える～	私たちを取り巻く自然災害・犯罪などに対し、どのように対処していくか、人と人、人と地域とのつながりから「安全で安心なまちづくり」を考えます。	渥美 公秀 氏 大阪大学大学院 人間科学研究科教授
4	6月23日 (土)	住民主体の まちづくり	住民主体のまちづくりに取り組む「真野地区(長田区)」について現地で実際の取り組みや工夫を学びます。	真野地区 まちづくり 推進会ほか
5	6月28日 (木)	ワークショップ 入門	まちづくりの現場でよく耳にする「ワークショップ」とは？基礎講座と一緒に受講してきた皆さんで実際に体験します。	神戸まちづくり ワークショップ 研究会

※内容・講師等は変更することがあります。

◆会場・時間：こうべまちづくり会館 午後6時30分～8時30分

6月23日(土)のみ 真野地域福祉センター(長田区) 午後1時30分～4時30分

◆定員：80名(応募者多数の時は抽選となります。)

◆受講料：¥1,000 (4月上旬に案内と納付書をお送りします。)

◆申込方法

受講希望の方は、①講座名「こうべまちづくり学校基礎講座」、②氏名(フリガナ)、③住所(郵便番号)④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦職業、⑧これまでの受講の有無、⑨まちづくり協議会・自治会などの地域団体の役職(該当の方)をご記入の上、FAX、はがき、E-mailで下記まで送付ください。

こうべまちづくり会館 〒650-0022 神戸市中央区元町通4-2-14

FAX: 078-361-4546 E-mail: mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp

申込用紙はHPからダウンロードできます。 <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/3jinzai/gakkou/gakkou.htm>

◆申込締切日 平成24年3月30日(金)必着

※ご記入いただいた個人情報は、こうべまちづくり学校に関する事務、まちづくりに関する情報の案内(希望者のみ)以外に利用いたしません

●秋からは、各分野(コミュニケーション・防災・防犯・景観・まちづくり・まち歩き・土木施設探訪)に分かれてまちづくりについてより深く学ぶ「専修講座」を開講する予定です。

平成23年度の専修講座は、9月1日から11月25日まで、全7コースに延べ215人のご参加をいただき、延べ131人の方が修了されました。平成24年度の募集は7月、講義は9月開始の予定です。詳しくは、あーばんとーく別刷(夏頃)、あじさい市民大学夏号等でお知らせします。

こうべまちづくり学校 受講生の声～アンケート結果まとめ～

こうべまちづくり学校は、まちづくりの基本から実践的な内容まで幅広いカリキュラムで実施しています。今回、まちづくり学校の今後の企画運営の参考とするため、今までの卒業生の皆さんと23年度の専修講座受講生の皆さんに、アンケートをお願いしました。アンケートにご協力いただいた皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。(アンケート期間12月19日～1月16日、受講者：316人、回答者157人)

<地域活動との関わり方>

約65%の皆さんが、地域活動に参加されており、そのうち約80%の方がまちづくり学校受講前から参加していま

した。元々まちづくりに関心があり、活動もされていた方の受講が多いという結果になっています。また、活動内容を見ると、地域

団体で活動されている方が多数を占めます。

一方、まだ地域活動に参加していない方も、多くの方が機会があれば参加したいと考えています。

では、参加していない理由とは何でしょうか。

参加できない理由

他にすることがあり忙しい 30%

地域にどんな組織があるか知らない 28%

地域活動する適当な組織がない 20%

参加方法がわからない 15%

世話役側は遠慮する 13%

その他 13%

無回答 11%

時間を取られるのが困る 7%

役員をさせられそう 6%

休みの日に借り出されるのが困る 6%

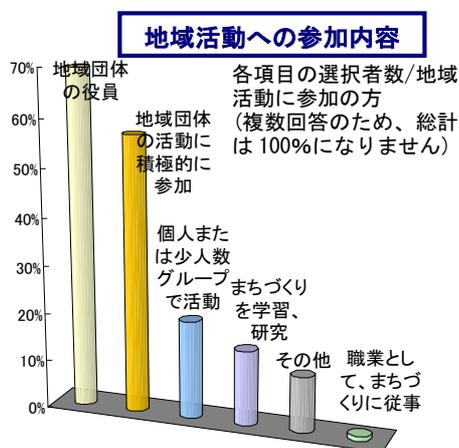
活動が活発過ぎ 2%

参加する勇気・自信がない 2%

人と接するのが苦手 2%

地域活動に関心がない 0%

各項目の選択者数/地域活動に参加していない方(複数回答のため、総計は100%になりません)



の情報を持たない、時間的負担が大きい、役員等になりたくないなどから、初めての人にとって、気持ちの上でハードルが高く感じられるようです。

<講座の満足度>

「非常に満足した」「満足した」が、約85%に達し、大多数の方に好評をいただいています。まちづくり学校受講後の変化としては、「まちに対する愛着・関心が高まった」「日常生活に生かしている」などが多く、まずは身近なことから取り組みはじめています。次いで、「まちづくり活動への参加」など、積極的に地域活動に取り組む方もいます。

受講生の変化

まちへの愛着・まちづくりへの関心が高まった 66%

まちづくりの広報紙・新聞記事・書籍等を読む 50%

講義で得た知識を日常生活に生かす 46%

まちづくりの講座などに参加 29%

前より積極的にまちづくり・地域の行事に参加 26%

まちづくりイベント(企画・活動)などに参加 22%

まちづくり活動の新しい取り組み・活動を工夫 17%

地域団体の役員を積極的に引き受ける 14%

まちづくり事例等を研究・仕事にいかす 10%

その他 4%

無回答 2%

各項目の選択者数/全回答者数(複数回答のため、総計は100%になりません)

<今後、まちづくり学校でとりあげてほしいテーマ>

個別テーマでは地域活動、まちづくりに関する要望が最も多く見られるほか、近年の大災害の発生を反映して防災の取り組みへの関心が高まっているように感じます。そのほかにも数多くのご意見をいただきましたが、紙面の都合上、詳しい内容は、後日まちづくり会館ホームページ等に掲載したいと思います。

また講座全体について、講義形式だけでなく、ワークショップ、クロスロードなどより実践的・具体的内容を取り入れた参加型のカリキュラムを求める声、より幅広い層の参加につながるPR等の必要性を指摘するご意見が多く見られました。まだ地域活動に参加されていない方の中にも、参加してみたいという気持ちの方が多く、皆様のご意見も踏まえて、講座内容の充実やより効果的なPRを検討し、女性、若年層の方などにも幅広く参加いただけるようにしていきたいです。今後、ニーズに応じた企画・運営を考えていきますので、これまで受講されたことのない方も、ぜひご参加ください。

参加したい気持ちがあっても、活動している組織

神戸のまちづくり 昨日、今日、明日

—まちづくり条例制定 30 年を迎えて—

その3 (最終回)

神戸市都市計画総局まち再生推進課 主幹 谷中 俊宣

神戸市まちづくり条例では、まちづくり協議会は、「住みよいまちづくりを推進すること」を目的として設置すると位置づけられています。

地域では、地区計画、まちづくり協定等によって実現する街並み、道路などの都市計画に加え、福祉、子育て、防犯など様々な分野の「まちづくり」に取り組んでおり、まちづくり協議会の活動もさらに多様化してきています。

昨年12月16日に開催されたシンポジウムでは、多様化するまちづくり活動を背景に、都市計画を含めた今後のまちづくりのあり方について、活発なディスカッションが行われました。最終回となる今回は、そのご意見の一部を紹介し、神戸のまちづくりの明日を展望したいと思います。



○まちづくり協議会は何に取り組むべきか

『様々な人が、それぞれ自分の興味のあることから活動するので、多様なまちづくり活動が出てくる』『住民主体である以上、必然的にまちづくりは多様化する』このような多様化のなか、地域組織の一つであるまちづくり協議会は、どのような役割を担っていくのでしょうか。『まちづくりでは、ハードとソフトを分けること自体おかし』『都市計画に関わる人が持つべき専門性を磨き直す意味において、ハード回帰が必要』『空間で生活している以上、ほぼすべてが空間づくりに関係する中で、まちづくり協議会が担う役割も広がっている』など、様々な課題と組織があるなかで、まちづくり協議会ならではの優先課題を選択し、実現に向けた取り組みを見極めていくことが必要になるでしょう。

また、『都市計画の役割を「場」となる空間をつくることとし、守備範囲を広げていく必要がある』など、都市計画が果たす役割も変化しており、さらに重要になった「地域」という枠組みのなかで、各々の役割を考えていく必要があるように思います。

○まちづくりをどう進めるか

『地域のまちづくりでは、生活に密着し、実感できるところの優先度が高くなる』『地域の魅力を伸ばし達成感を得ること、誇りを持つことが突破口になる』

『今あるものをいかに使いこなすか、今いる人で何ができるかを考え、どのようにプロセスを積み重ねるかが大事』必ずしも計画ありきでは無く、身近なまちの環境改善や価値の向上を実感、共感できる形で積み重ねることが、質の高い都市空間の実現になるのではないのでしょうか。

さらに、まちづくり協定や事業等の制度については、『運用しながら少しずつ完成させていくような仕組み』『継続して使える制度や使うための取組み』を考えていく必要もあるようです。

○まちづくりを担う組織や人のあり方

まちづくり組織のあり方については、『それぞれの目的を持った組織がゆるやかに連携したものがあれば良い』『まちづくり協議会が地域コミュニティのなかで真ん中に存在しても良い』『既存組織による代表組織主導型は信頼性が高く実力があるが、多くは高齢化が進んでいる。まちづくり協議会が、個人と個人がつながるプラットホーム型になれば、持続性が高い』

人材については、『東日本の被災地に行って神戸のまちづくりにおける人材の豊かさを感じた』『人材育成のカリキュラムが必要』『地域の要請に応えることができる行政職員の力量にかかっている部分がある。継続して支援できる行政の仕組みが必要』『成果が出れば、新しい人材は出てくるもの』

「まちづくりを担う人づくりにどう取り組み、人と人とをどうつなげるか」は、まちづくりの明日を考えるにあたっての大きなテーマです。

○おわりに

昨年3月、神戸市では、「都市計画マスタープラン」を策定し、地域の皆さんによる積極的なまちづくりの取り組みにより、きめ細かな質の高い都市空間をつかっていく「わがまち空間づくり」を位置づけました。

地域の皆さんは「わがまち空間構想」をまとめて、条例の「まちづくり提案」として提案することができ、具体化に向け、まちづくり協議会の活動がさらに重要になっていきます。このわがまち空間づくりは、産声を上げたばかりですが、30年を迎えた条例と共に、今後の展開にご理解、ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、この場をお借りして、企画展、シンポジウムの開催にあたり、多大なご協力をいただいた皆様に、厚くお礼申し上げます。

まちづくりライブラリー
(図書コーナー)

図書のご案内

～まちづくりを考える～

こうべまちづくり会館 4階のまちづくりライブラリー(図書コーナー)より、所蔵図書をご紹介します。
平成23年度は、神戸市まちづくり条例制定30年を迎えます(3面に連載記事を載せていますので、あわせてご覧ください)。神戸市の住民主体のまちづくりの大きな転換点となった条例です。様々なまちづくりに関する本がありますので、この機会にまちづくりの制度や仕組みなど学んでみませんか。



「まちづくり条例の実態と理論」
(内海麻利著・平成22年)

まちづくり条例の法的側面・その変遷などの解説、各地のまちづくり条例の分析・課題、また、条例の今後の新たな役割にもふれています。



「地域の子カラ」
(「地域の子カラ」研究会編・平成21年)

主に京阪神のまちづくり事例～「元気なまちづくりによる地域力の発揮」～まちづくりに取り組むコンサルタントの率直な現場体験を掲載。



「まちづくりびと 再開発合意ものがたり」
(石原當市他著・平成23年)

再開発まちづくりのために困難な関係権利者の合意形成に挑んだ「まちづくりびと」のリアルな奮闘記録。読み物としても迫力がありおススメです。

他にも、まちづくり協議会が地域の復興まちづくりの取り組みをまとめた記録誌などもあります。

「新長田駅北地区東部 復興記録誌 震災から10年」
「未来へ(あすへ)六甲道駅北地区 復興まちづくり記録誌」
「松本地区復興記録誌」など

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
1/26(木) ～ 2/14(火)	神戸建築物語	神戸市都市計画総局
2/16(木) ～ 2/28(火)	橋梁模型コンテスト受賞作品/北区フォトコンテスト入賞作品展	神戸市建設局/北区
3/1(木) ～ 3/13(火)	まちづくり学校パネル展	神戸市都市計画総局

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
2/2(木) ～ 2/7(火)	K S C 11・12期絵画同好会 合同作品展 <油彩・水彩等>	K S C 11・12期絵画同好会
2/9(木) ～ 2/14(火)	第14回 遊遊会 水彩画展	遊遊会
2/16(木) ～ 2/21(火)	第9回 須磨火曜スケッチの会 作品展 <油彩・水彩>	須磨火曜スケッチの会
2/23(木) ～ 2/28(火)	水彩・パステル グループWa 合同展	グループWa
3/2(金) ～ 3/6(火)	ぐるーぶ ひらの展 <油彩>	ぐるーぶひらの
3/8(木) ～ 3/13(火)	第46回 兵庫倶楽部 写友会 写真展	兵庫倶楽部
3/16(金) ～ 3/20(火)	もとまちハートミュージアム ドギドギ展 <油彩・水彩等>	もとまちハートミュージアム実行委員会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間:午前9時30分～午後6時(水曜日休館)
場 所:元町商店街4丁目西端の南側角
地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分
神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分
「西元町」東口から東へ5分
JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分
〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14
電話:078-361-4523 FAX:078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
受付:午前9時30分～午後5時30分(水曜日休館)
ただし、印刷は5時まで
電話・FAX:078-361-4565